

第 55 回 室蘭市都市計画審議会 議事録

1. 開催日時 令和 6 年 2 月 22 日（木） 14：00～14：30

2. 開催場所 FK ホールディングス生涯学習センターきらん 2 階 多目的室 1

3. 出席者

委員：市村 恒士（会長）、川村 志麻、時田 昭子、西岡 忠広、野橋 知哉、日栄 均、松岡 喜代孝、南川 達彦、三村 紀子、森川 卓也（副会長）、山中 正尚（敬称略）

臨時委員：菊地 範、木村 克俊、鈴木 広志（敬称略）

市側：（都市建設部長）佐藤 一徳
（都市建設部次長／都市政策推進課長事務取扱）末尾 正
（都市政策推進課主幹）稲場 英憲
（都市政策推進課長補佐）村井 幹男
（都市政策推進課都市政策推進係長）秋田 裕二
（都市政策推進課主査）北村 祐貴
（総務部防災対策課長）武田 学
（総務部防災対策課防災対策係長）佐々木 健太郎

4. 議題 (1) パブリックコメントの実施結果について（資料 1）
(2) 室蘭市立地適正化計画（案）について（資料 2-1、2-2）

5. 傍聴者 報道関係者 1 名

6. 要旨

資料 1 にて事務局から説明

<質疑・応答>

【市村会長】

今回の改定は、特に、防災の部分の改定が多かったもので、そのあたりの意見があればと思いますが、「なし」という形になっています。

ご意見の 2 番につきましては、今後、色々考えつつ、進めていければと思います。

資料 2-1、2-2 にて事務局から説明

<質疑・応答>

【市村会長】

これまで、皆さまのご協力のもと、ご審議、ご意見をいただき、この計画が成り立った形になっているかと思えます。この案を了承したということですのでよろしいでしょうか。今後、細

かい部分の修正がありましたら、会長一任ということで、ご対応させていただきたいなと思います。

今年度は、立地適正化計画の、特に防災に関する審議ということで、防災が専門の臨時委員の方に入っていただきました。計画の改定は防災に特化した内容でしたので、なかなかこの審議会の中で、お話になれる人ばかりでもないということと、審議会の短い議論の中なので、臨時委員の方が実質的に動いていただいて、案を作っていくような仕組みにしようということで、今回このような体制にさせていただきました。その意味で、臨時委員の方の参加によって、皆さまのご意見等を含めて、一定程度計画に反映できたのかなとは考えています。3人の委員の方には、ご協力いただき、本当に感謝いたします。それぞれ一言ずつ、ご挨拶いただけたらなと思います。まず名簿の順で、菊地委員からお願いできますでしょうか。

【菊地臨時委員】

気象台の菊地と言います。一番最初の時にお話させていただいたのですが、何か違う角度から意見できればと思っていましたが、なかなか皆さまについていくのが精一杯でした。ハザードマップとその違いなど、色々な観点から見させていただこうと思っていました。お役に立てなくて、大変申し訳なく思っています。災害という点では、この間の季節外れのとてつもない暖気の後、こんな冬に戻るなどなど、まだまだ気象が変わっていくと思います。これからも、皆さまにご協力をいただきまして、気象災害の方からは、未然に防ぐ、あるいは、軽減させていただくというところでお手伝いさせていただければと思います。皆さま、どうもありがとうございました。一年間お疲れさまでした。

【木村臨時委員】

室蘭工大の木村でございます。防災ということで呼びいただき、この都市計画審議会というのは、室蘭市都市計画のマスタープランをつかさどるグループだと理解しました。都市計画が上位計画であるとしたら、その下位にある計画というのは、この防災にとどまらず、私は縁あって、室蘭港の港湾計画の審議会も担当していますが、そこも、この都市計画マスタープランの計画の中の下に位置づけられていると。ということは、皆さまのご意見というのは、逆に、そのような各委員会等に対して指導をしたり、あるいは意見をしたりする、そういう位置付けになるのかなと思いました。今回は防災で、主に住民の防災が中心でしたけれども、例えば企業のBCPを考えたり、あるいは商店街での商業行為を考えたりする時もこのマスタープランが生きてくると思います。そういう意味では、今回私ども臨時委員として呼びいただきましたけれども、必要に応じて、こういうところの意見を聞きながら進めていただければいいのかなと思いました。それと、大変ボリュームのあるこの立地適正化計画は、よくできた計画だと思っています。これを実現して、さらに、市民の安全、安心を守るというのが役割かなと考えています。短い期間でしたけれども、ありがとうございました。

【鈴木臨時委員】

胆振総合振興局危機対策室の鈴木です。この度、室蘭市の立地適正化計画の見直しと、防災指針の追加ということで、審議に関わらせていただきました。防災指針のところですが、さまざまな災害リスクを分析しまして、課題を抽出し、そして、取り組み方針を取りまとめ、しっかり整理されているなというふうに認識しております。今現在、市の方で、日本海溝、

千島海溝沿いの巨大地震津波避難対策における各種計画の検討ですとか、JR 線路横断の協議の準備を進められていると聞いています。振興局といたしましても、こうした検討ですとか協議が円滑に進みますよう、市と関係機関などと連携した上で、適切に対応してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。一年間お疲れさまでした。

【市村会長】

ありがとうございました。繰り返しになるかもしれませんが、このような形で、都市計画審議会に臨時委員を入れて、今回は防災でしたけども、常設的なのもかもしれませんし、その各専門の得意な方々を入れ込んだような仕組みですよ。いつも審議会になりますと、案が出てきて、それを短い時間でやってしまうという仕組みが、どうしても限界があるなどということはいつも少し感じています。今回、臨時委員という形でやってみましたけれども、今後もこのような試行的なことも行いながら、あるいは常設的な委員会とかワーキングみたいなものを入れ込みながら、審議会自体を実質的なものに、今も実質的ではないというふうには言いませんけども、そういう形になるようなことを期待していますし、こういう形にできるだけ、私がいる間でも、改善できたらなと思っています。今回携わった3人の臨時委員も、どういう形かわかりませんが、引き続き、今後ともご協力いただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは、最後に皆さまから何か質疑等ございますでしょうか。

【日栄委員】

ほかの計画でもそうなのかもしれませんが、パブリックコメントが2件っていうのは、これまたいかがなものかなと思っています。パブリックコメントというのは、意見がたくさん出ることが、成功かなと思っています。ほかの計画でも、2、3件が普通だろうとは思いますが、今回に関しては、防災とか、もっと身近な問題であるので、もう少し、パブコメのやり方とか、動画とか、SNS もやってると思うんですけど、なにか違う方向でいかないと、一番、市民が、自分事に返ってくる問題なので、パブリックコメントという言い方が悪いかどうかかわからないですが、なにか工夫して、しかも、2件のうち1件は既にやられているところで、もう少し身近なところの意見がもらえるような仕組みみたいなものができればかなと思っています。結果的には、防災ですから、意識してもらっているかどうかということの確認にもなるので、その辺をもう少し工夫してもらえればなと、我々もそういう意見が出ればいいんですけど、と思っております。

【市村会長】

私も意見が少ないし、防災について出なかったのが寂しいかなと思ったりもしました。防災についてですので、今後も周知を含めて、頑張っていけたらなと思います。

【山中委員】

防災指針を立地適正化計画に入れるための体制が出来上がって、それを大きく見直して、本当に臨時委員の皆さまには本当にご尽力に感謝申し上げたいと思っています。

勉強のために教えてほしいことがあります。話が少しずれるかもしれませんが、正月に起きた能登半島地震の中にも課題があると思います。今までの災害でも起きていますが、まず1つは、避難所におけるインフラ、上下水道の整備、これはどこの部署でどういう形で整

理するものなのでしょうか。これは大きな課題で、クローズアップされているかと思います。もう1つは、自衛隊やボランティアの方々も含めて、多くの人が現地入りしたかったのですが、動線がないということで、非常に待機せざるを得なかったという状況があります。私どものボランティアセンターの関係も含めて直球で言うと、来なくていいよというような感じの体制であると思います。そこのまとめは県でやっているのです。各社協ではなくて。少し体制が違う。だから、このような調整や整理はどこでやるのか。それともう1つは、今でも非常に課題になっています。30年とか40年分の、災害ごみが出てますと。これの一次保管場所とか最終処理、この辺の課題については今回の計画では触れていませんが、今、浮上している課題ですので、これをどこの部署で、どういう形で室蘭市は進めていこうとしているのか、わかれば教えていただきたいと思います。

【事務局】

避難所におけるインフラ整備というお話がありました。避難所に特化したというものはなくて、普段ある、水道ですとか、道路、河川、色々インフラがありますが、それは、それぞれの部署において対応していくというものになります。実際、災害が起きて、復旧するといった時にも、それぞれの所管の部署が主体となって進めていくものになるのかなと考えています。

【山中委員】

それぞれの部署が、専門分野でやるのは構わないのですが、少なくとも災害ごみの一次受け入れですとか、応援者が入る幹線道路ですとか、やはりマスタープランの中で、この計画の審議会の中でもある程度もんでおかないといけないと思います。特に土地の問題なので。それともう1つ。私どもは、ボランティアセンターを設置して、いろんな条件を整理させていただいてますけど、その場所自体も本当にいいのかどうかという、やっぱり施設、場所の問題があるので、できれば都市計画の中にも、少しご意見の中に入れていただくと私はいいのかなと感じています。意見として申し上げます。

【市村会長】

ありがとうございました。今回、さまざまな課題があり、うまく反映できてないところもあり、その中にたくさんのご意見いただきました。先ほど少し述べましたけど、そのあたりも継続的に考えられるような、仕組みのようなものが必要なのかなと考えています。そこも含めて、今後、ご検討いただけたらなと思います。

この改定について、1年ほど、ご協力いただきありがとうございました。本日はこれで終了いたします。